



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2216回例会 令和 4年 10月 7日(金)

【クラブフォーラム・戦略計画委員会】

2022-10-21発行

2022~2023年度



国際ロータリー会長ジェニファーB・ジョンス
『イマジン ローター』

【会 長】島田敏郎

【副会長】斎藤英雄

第2570地区ガバナー 村田貴紀
『地域と世界でつなぐ力を磨き奉仕を实践しよう!』

【幹 事】桑原福治

【SAA】横田昌則

【点 鐘】 会長 島田敏郎会員

【斉 唱】 国歌 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

【唱 和】 ターゲット 野崎秀一会員

四つのテスト CD

【会長の時間】 会長 島田敏郎会員

みなさん、こんにちは

10月に入り、朝晩はすっかり秋らしく冷え込む日が増えてまいりました。早いもので令和4年も残すところあと3ヶ月です。先日発表された3ヶ月予報では、今年の12月の平均気温は平年よりも低くなる見込みとのことでした。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期かと思いますが、皆様引き続き体調管理に気を付けていただきたいと思います。



先週は夜間例会ということで、北川正恭先生にお越しいただき、卓話を頂戴しました。

当日はSAAの方を中心に短時間で会場設営など行っていただき予定通り実施することができました。ありがとうございました。また、食事会まで多くの会員さんにご参加をいただきありがとうございました。昭和・平成・令和を客観的に展望する北川先生ならではの貴重なお話を伺い、私自身「いい勉強になった」という非常に充実した気持ちで帰路に着くことができました。この一週間、私なりに北川先生のお話を整理しましたので、本日この場でお話させていただきます。よろしくお願いいたします。

私は1956年の生まれですが、私が社会人になる頃まで日本の景気は放っておいても上り調子でした。

その頃は社会に出て、出世をして、お金を稼ぐということが若者たちの当たり前の目標でしたし、当然私もその波に逆らうことなく生きてきました。しかし、結婚して長女が生まれた頃、日本はバブル崩壊を迎えます。失われた20年という言葉をよく耳にしますが、私の子どもたちに聞くと「日本は景気が悪いのが当たり前」だそうです。北川先生がおっしゃられた「平成は昭和の成功を引きずったために失敗に終わった」という事実を、子どもたちも冷静な目で捉えているのだと思います。そのように聞くと、昭和、平成を生きてきた身としてはなんだか寂しいような気がいたします。

先日、あるワイドショー番組で若者の「出世」に対する考え方の変化について取り上げられていました。高度経済成長期の東大卒業生に「出世をしたいか」とインタビューしたところ、「もちろん」とみんなが口を揃えて言うのに対し、現代の若者たちに同じ質問をすると70%以上が「できれば出世したくない」と答えたそうです。これは、平成の失敗体験を成長過程で目の当たりにしてきた世代の日本に対する評価だろうと思います。若者たちに「何をしても変わらない」のであれば「自分が先頭に立っても痛い目を見るだけ」という気持ちを抱かせてしまったことは、私たち大人にも責任があります。

1991年のバブル崩壊、2008年リーマンショック、2011年東日本大震災、そして2019年から続くコロナウィルスの感染拡大、こういった厳しい状況下で日本を元気にしていくためには、行政が変わり、政治が変わり、国民が変わっていく必要があります。北川先生は行政と政治の両方にPDCAサイクルを導入するため、行政には内部評価と情報公開を、政治にはマニフェストを提唱されました。それらを最終的に評価するのが国民です。だから国民が「どうせ何をしてもし変わらない」といった態度では、せつかくのPDCAサイクルも機能しないのです。国民を変えると

というのは行政・政治とは比べ物にならないほど難しいことだと思いますが、この変えるための一つの力に、北川先生はロータリークラブを挙げてくださいました。

北川先生はこの国民を変えていくための活動の一つとして岐阜県可児市の事例を紹介してくださいました。高校生の公民教育を市議会が担ったというものです。

公職選挙法の改正により、平成28年から選挙権年齢が18歳に引き下げられました。しかし、18歳の子どもたちに、いきなり「選挙へ行こう」「投票しよう」というのはなかなか難しい話です。かといって、高校の先生がそれを教えるというのも、難しいというのが現実です。この公民教育についてロータリーでも議論してほしいと北川先生がおっしゃっていました。ロータリークラブには様々な職業の、多様な考え方を持った大人がたくさんいます。ここで間違っただけいけないのが、子どもたちに教えるのは「支持すべき政党や考え方」ではなく、自分で政治を読み解き、考え、評価する力です。これは私たち大人であっても容易にできることではありません。こういった活動をとおして、私たちも「力」をつけていくことができれば、日本はもっと元気になるかもしれません。

私は北川先生のお話を聞いて、ロータリークラブにおける青少年奉仕の新たな可能性を見たような気がいたしました。ぜひ、今後の活動の参考にさせていただければと思います。

さて、今日は会員増強についてのクラブフォーラムを戦略計画委員会に担当していただきます。本日もどうぞ、よろしく願いいたします。

【幹事報告】幹事 桑原福治会員

1) 例会変更とプログラムの件

1. 朝霞RC

10月11日 法定休会

朝霞ロータリークラブ定款第7条
会合第1節 - 例会。(d) 取消。(1)

18日 #2756

25日 #2757 山崎一吉RI第2570地区
第2グループガバナー補佐訪問

11月1日 法定休会

8日 #2758

15日 #2759 村田貴紀 2022-23年度
RI第2570地区ガバナー公式訪問

22日 法定休会

朝霞ロータリークラブ定款第7条
会合第1節 - 例会。(d) 取消。(1)

2. 朝霞キャロットRC

10月10日(月) (スポーツの日) →休会

10月24日(月) →通常例会

スマイルホテル北朝霞3階

3. 当クラブ

10月14日(金) 定款による例会取止め

21日(金) 卓話

米山記念奨学生オダヒョンさん

28日(金) 夜間移動例会

卓話 阿部晋一郎元会員

開会点鐘18:30閉会点鐘19:15ピアザふじみ

11月4日(金) 定款による例会取止め

2) 次の書類を回覧します

1. 10月レポート=1ドル145円

2. 第51回ロータリー研究会ご案内及び登録について

3. 2021~22年度 地区会計収支報告

4. 米山梅吉記念館訪問研修旅行11月6日(日)

5. 2022~23年度 第2回会長幹事会会計報告
第1回臨時会長幹事会会計報告と議事録

6. 第3回会長幹事会開催日 10月12日(水)

8:00~19:30 場所 朝霞市産業文化センター

7. 志木RC会報

8. 東入間防犯・暴力排除推進協議会より

「令和4年東入間防犯・暴力排除推進大会」の開催のご案内 11月1日(火) 午後2時~4時まで

キラリ☆ふじみメインホール

3) 本日、第8回理事会開催

【委員長報告】

○親睦委員会 委員長 星野信吾会員

1. 10月誕生日祝

松本仙太郎、松本伸一郎会員

栗原 平会員 斎藤重治会員

10月夫人誕生日祝

横田昌則、日鼻 靖会員

野崎秀一会員

10月結婚祝

西崎哲章、松本伸一郎会員

森田仁一、山城 盛、奥田功次会員

横田昌則、桑原福治、星野信吾、長根章浩会員



2. 夫人同伴親睦バス旅行、11月22日に企画いたしました。本日理事会の議題になっております

【出席報告】委員長 吉原孝好会員

10月7日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	24名	10名	
出席数	18名	6名	77.4%

【ニコニコBOX】委員長 吉原孝好会員

島田敏郎会長
 星野信吾親睦委員長
 先日の夜間例会、北川先生の講演会・懇親会に多くの方の出席を戴き、有難うございました。
 森田仁一会員
 暫く、休みが続きましてすみませんでした。
 斎藤重治会員
 誕生月にて
 野崎秀一、横田昌則会員
 家内の誕生祝、有難う。
 山城 盛、奥田功次、長根章浩、星野信吾会員
 森田仁一、横田昌則会員
 結婚祝、有難う。
 桑原福治会員
 結婚45周年を迎えます。
 お祝いを有難うございます。
 斎藤英雄会員
 前回、欠席しました。 本日合計¥28,000



【クラブフォーラム】

戦略計画委員会委員長 桑原福治会員



9月15日に開かれましたd債2回戦略計画委員会の炉辺会合の結果の資料として、A、B、C、Dの4つのテーブルで討議をお願いします。その結果報告を発表して頂きます。

1. 新たな会員増強計画

8月5日に開かれたクラブフォーラムの結果として

- A、会員数50名を目標に一端入会金を免除する
 検討1、細則第6条第1節 入会金に但し書き条項を入れる。
- B、特別正会員制度を設ける。出席免除会員の後継者世代の入会を促進する。
 特別正会員の会費は50%とする。

検討1、定款第8条 会員身分 第7条例外条項により細則に特別正会員を規定する。
 検討2、細則第6条に特別正会員制度を規定する。順次条項を繰り下げる。

C、新たな会員増強パンフレットを作成する。
 検討1、クラブ全体の集合写真、奉仕活動、親睦会等を紹介したパンフレット内容
 検討2、B5版4ページのクラブ紹介
 検討3、制作部数 700部 会員一人20部

2. 富士見クラブ全体での会員増強活動

A、増強委員会が中心で、全会員による推進
 検討1、推進範囲富士見市、ふじみ野市、三芳町
 検討2、新会員へのクラブ紹介例会の企画は(体験入会)
 検討3、推進方策は

3. 若い方、女性の方への会員増強運動

- A、青年層(後継世代)の入会促進 青年層の仲間作りの場として
- B、女性会員の勧誘

Aテーブル 横田昌則会員

坂本元彦、島田敏郎、桑原福治会員
 大坪 進会員



- ・入会金の免除および特別正会員制度を設ける事に関しては、会員増強に必要な事であり、早急に検討する。
- ・増強パンフレットを利用し、会員全員いつでも配れる状況で勧誘に努める。
- ・増強委員会にて定期的に活動状況を報告し、意識を高め全会員で活動を推進する。
- ・体験入会の機会を検討する。例会・活動・炉辺・卓話講演会等への参加
- ・入会しやすいような条件の変更を検討する。期間限定の会費・例会の日時変更等

Bテーブル 長根章浩会員

斎藤重治、尾崎 功、柳田政男会員
 羽石 隆会員



***新たな会員増強計画については**

- ・会員増強のために一旦は入会金免除はいいのではないか。
- ・特別正会員制度の会費は50% (12万円)ではなく25% (6万円)に。
 理由として
 特別会員は例会には出席しない。
 特別会員は年次行事(新年会、地区大会、親睦旅行etc)に参加する場合は実費。
- ・新たなパンフレットは奉仕作業や親睦の写真が多く掲載されており内容はいいのでは。

Cテーブル 森田仁一会員

萩原喜八郎、吉原孝好、浅見隆広会員
 尾崎孝好会員



1. 新たな会員増強計画

- A、会員数50名を目標に一端入会金を免除する事には賛成
- B、特別正会員の制度が分からない?
 出席免除会員の後継者を入会条件に会費50%
- C、世界的または日本の有名な方達もしている事をアピール(名前や写真)する
 写真での退会した方が移っている事はどんなものなのか?また一般の方が移っているが、許可をとった方が良いのでは?いるが、許可をとった方が良いのでは?
- 2、富士見クラブ全体での会員増強活動
 卓話で有名な方々を呼んでオープン例会を開き、例会場に来て雰囲気を感じてもらおう、その後に懇親会を開く
- 3、若い方、女性の方への会員増強運動
 1人では入会しづらいので、複数で入会を!

Dテーブル 奥田功次会員

山城 盛、野崎秀一、星野信吾会員
 斎藤英雄会員



- 8月5日に開かれたクラブフォーラムの結果として
- A 入会金は全ての時と場合に於て、廃止にする。
 - B 特別正会員制度…事態が分かっていない。
 - C 新たなパンフレット
 ゴルフの写真をなくす。
 退会者が映っている(省いた方がよい)
- その他 ITでの勧誘を考える。

クラブフォーラムの結果として整理します。

戦略計画委員会委員長 桑原福治会員

- ①入会金については概ね賛成 ②特別正会員制度については、制度として概ね賛成で、会費の再検討を
- ③パンフレットは多少校正を要する。
- ④クラブの体験入会は例会だけでなく炉辺会合でも良いのでは
- ⑤推進方策として例会中に定期的な報告会を
- ⑥紹介リストアップは次回のフォーラムで。

ありがとうございました。

【点鐘】会長 島田敏郎会員

例会日	毎週金曜日
時間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会 週報担当:涌井英樹
 委員長:涌井英樹 副委員長:西崎哲章
 委員:羽石 隆 浅見隆広